

<http://sposyo.nanso-baseball.com/>
千葉県スポーツ少年団軟式野球交流大会 大会競技規則
【大会競技規則】

- 1 , 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「競技者必携書」及び「大会特別規則」を適用する。

【大会特別規則】

(出場資格及びチーム構成)

- 1 , 大会の出場資格は、公益財団法人千葉県体育協会千葉県スポーツ少年団の団員であり最終日の試合まで参加できるチームでなければならない。
- 2 , チーム構成は、成人者による代表者、監督、コーチ(2名以内)、スコアラーと選手(小学生)20名以内とし、認定有資格者が2名以上含まれていなければならない。
- 3 , 出場チームは、地区予選も含め選手を他のチームから補強及びその他の不正を行うことを禁止する。

(服装・用具)

- 1 , 同一チームの監督、コーチ、選手の服装は、同一のユニフォームを着用すること。但し代表者、スコアラーの服装は、帽子に限り同一のものを着帽し、靴は運動靴を着用する。代表者、スコアラーは背番号のない同一ユニフォームでもよい。
- 2 , 背番号は、監督30番、コーチ28番・29番、主将10番、選手は0番から27番までとする。
- 3 , スパイクシューズは金属製のものは使用できない。
- 4 , ヘルメットは、「JSBB」マーク入りで両側にイヤラップの付いたものを最低8個用意し打者、次打者、走者、ランナーコーチ、ボールボーイが着帽する。
- 5 , 捕手(控え捕手も含む。)は、全日本軟式野球連盟公認のスロートガード付きマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、ファールカップを使用すること。
- 6 , 使用球は、全日本軟式野球連盟公認球「C号球」とし、金属バットは「JSBB」マーク入りの公認のものを使用する。
- 7 , 投手の守備時以外、選手は手袋及びリストバンドを使用することができる。

(開会式)

- 1 , 大会に出場する選手は、開会式に参加するものとする。これに違反した場合は試合に出場することができない。ただし、学校行事、疾病など特別な理由がある場合に限り、軟式野球専門部長の許可を得れば試合に出場することができる。

(試合の集合・準備)

- 1 , 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の1時間前までに試合会場に到着し、球場責任者による受付を終了すること。その後の試合のチームも同様とする。
- 2 , 試合中止の場合は、大会本部から連絡する。雨天等判断が困難な場合は、定められた時間までに試合会場に到着し、大会本部の決定に従うこと。
- 3 , メンバー表の提出は、第1試合は試合開始時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の3回終了時とし、監督、主将が3部持参し、グラウンドルール等を確認すること。
- 4 , ベンチは、抽選番号の若番が1塁側とし、先攻・後攻はメンバー表提出時にジャンケンにて決定する。
- 5 , 試合前のシートノックは後攻チームから開始し、時間は5分とする。ただし、前試合の遅れや天候不安等が生じた場合は、球場責任者の判断で中止して試合を開始する。

- 6 , 第2試合以降のチームはグラウンド内に入ったらキャッチボール、トスバッティングをそれぞれ5分言いシートノックに備える。
- 7 , ユニフォーム着用指導者は、試合開始前の練習の補助及び控え捕手の代わり(試合中も含めて)を務めることができる。
- 8 , シートノック時に監督又はコーチにボール渡しをする選手は、必ずヘルメットを着帽しなければならない。

(試合時間等)

- 1 , この大会の試合は、トーナメント戦とし7回均等回で勝敗を決することとするが、タイムゲームを採用する。1試合90分を超えた時は新しいイニングに入らずその時点の得点をもって勝敗を決する。同点の場合は直ちに特別延長戦に入る。決勝戦も同様とする。
- 2 , 7回終了時で同点の場合は、時間内であっても特別延長戦に入る。
- 3 , 得点差によるコールドゲームは5回均等回終了後7点差のとき適用する。
- 4 , 日没、降雨によるコールドゲームの適用は、4回終了後適用する。4回終了前については、特別継続試合(サスペンデッドゲーム)とし、後日の第1試合前に行う。日没、降雨での試合中止の判断は、球場責任者、球場責任審判員、主審が協議して決定する。
- 5 , 1試合のタイムの回数は攻撃時3回以内、守備時3回以内とする。特別延長戦に入った場合は1イニングにつき各1回以内とする。選手の交代を伴う場合は、この制限の回数に入れれない。また、守備時に選手のみで3人以上が1箇所集まった場合は守備時1回とみなす。

(試合)

- 1 , 臨時代走(コーティシーランナー)は必要に応じて主審が認める。この代走は打順の最も遠い投手、捕手を除いた選手を充てる。
- 2 , 審判員の判定への抗議はルール適用の誤りの時のみ監督、又は当該選手がすることができる。
- 3 , 選手交代は、必ず監督が球審に告げる。
- 4 , メガホンはベンチに1個のみ持ち込むことができるが、使用は監督のみとする。
- 5 , 試合中、ベンチ入りの代表者、監督、コーチ、スコアラーは審判員の許可なしにグラウンド外に出ることはできない。
- 6 , 試合中、ベンチ入りの代表者、監督、コーチ、スコアラーは携帯電話を携帯できない。
- 7 , 各チームの応援団及びベンチは、相手チームへの野次等を発することが出来ない。執拗な抗議や悪質な野次に対しては、大会本部、球場責任者、責任審判員、当該審判員から断固たる処置を命じる。

(特別延長戦)

- 1 , 特別延長戦は、前回の継続打者が先頭打者となり、走者は、前回の最終打者が1塁走者、2、3塁の走者は、順次前の打者とし、無死満塁で1イニング行い、得点の多いチームを勝者とする。1イニングで勝敗の決定しない場合は更にもう1イニング行う。それでも勝敗が決定しない場合は、抽選とする。
- 2 , 特別延長戦は、選手の交代等通常の試合が継続して進んでいることになるので、既に交代し退いた選手は再度出場できない。